

令和8年度 学校評価アンケート結果【前期】

— 学校の取組を「生徒の姿」として確かなものにするために —

分析の視点：教職員・地域は「学校の取組」、生徒は「自分自身の行動」、保護者は「家庭で見える子どもの姿」を評価しています。数値差は単純な評価の高低ではなく、学校の取組が生徒の成長や家庭での実践にどこまでつながっているかを考える手がかりとしています。

1 全体の評価状況

対象	肯定率	主な評価対象	主な特徴
教職員	97.4%	学校の取組	「知」を中心に高評価。時間外在校等時間の縮減は 75.0%。
生徒	87.7%	自分自身の行動	チャレンジ目標 95.7%、行事・体験活動 93.6%。
保護者	79.4%	家庭で見える姿	行事・体験活動 95.3%。生活習慣・メディア 58.1%。
地域	98.9%	学校の取組	「郷・知・徳」は高評価。安全・防災教育 85.7%。

2 本校の成果

(1) 学校行事・体験活動への取組

教職員 100%、生徒 93.6%、保護者 95.3%、地域 100%で、4 者の差は 6.4 ポイントと最小でした。生徒が主体的に役割を果たし、その成長が家庭・地域にも伝わっている本校の大きな強みです。

(2) 「徳」の取組

教職員 98.3%、生徒 91.5%、保護者 86.0%、地域 100%と安定しています。特にチャレンジ目標 95.7%、道徳教育 91.5%、行事への主体的な取組 93.6%は、生徒自身の実感も高い結果です。

(3) ICT・生成 AI の活用

生徒の肯定率は 87.2%、平均点は 3.36 であり、ロイロノートや生成 AI の学習活用が一定程度定着しています。

3 認識差から見える重点課題

項目・数値	読み取れること	改善の方向
生活習慣・メディア 教 100／生 89.4／保 58.1 最大差 41.9 ポイント	学校での指導や自己認識が家庭での実際の行動に十分結び付いていない。	家庭で実行できる具体的な目標・ルールを、生徒自身が決めて振り返る。
学力定着 教 100／生 89.4／保 65.1 最大差 34.9 ポイント	取組や生徒の実感が、家庭に「確かな学力」として十分伝わっていない。	点数だけでなく、振り返り、成果物、学び直しの状況を見える形で共有する。
夢や目標 教 100／生 91.5／保 72.1 最大差 27.9 ポイント	学校で見られる生徒の挑戦する姿が、家庭での会話や実感として十分に届いていない可能性がある。	キャリア・パスポート等を活用し、目標やその達成に向けた努力を家庭と共有する機会を設ける。
地域発信 教 100／生 74.5／保 76.7 最大差 25.5 ポイント	地域活動への参加は充実している一方で、「自分の言葉で伝える力」が身に付いたという実感は十分ではない。	気付く→考える→発信する→地域へ還元する学びの流れを明確にする。

今後の重点と教職員で共有したい実践

本校の課題：学校での取組を、生徒の行動や家庭での実践につなげ、その成長を学校・家庭・地域で共有していくこと

4 重点改善策

郷 地域学習を発信・還元へ ・ ABU 学等では、体験後の振り返り・発表・提案・お礼や報告までを一連の学習として位置付ける。 ・ 地域、保護者、他学年・他校種など、相手を意識して発信する機会を設ける。 ・ 発表後の反応を生徒に返し、「自分の言葉で伝えられた」という成功体験につなげ、次の学びへの原動力とする。	知 学習成果を見える形へ ・ ガリ勉学習タイムやアクティブリコールをにおいて、何ができるようになったかまで振り返ることができるようにする。 ・ 効果的だった学習方法や残った課題を、生徒自身が整理・説明する機会を設ける。 ・ ロイロノート、生成 AI、成果物、学び直し等を活用し、学びの過程や変容を家庭と共有する。
徳・体 安心・安全な環境作りと家庭での実践へ ・ 「いじり」「からかい」は受けた本人の感じ方を基準に、生活アンケート、教育相談、日常観察を重ねて迅速に対応する。 ・ 相談しやすい方法を工夫するとともに、相談窓口や相談方法を生徒・保護者に改めて周知する。 ・ メディア利用、就寝、朝食、歯磨き等は、生徒が具体的な目標を決め、家庭と学校で共有・確認する。	校務運営・安全 仕組みを整える ・ 重要伝達の事項は「誰に・何を・いつまでに・どの方法で」を明確にし、阿武中ポータル、職員朝礼、校内メールの役割を整理して効果的に活用する。 ・ 行事、分掌、提出物、調査等を精選し、業務の偏りを減らして、時間外在校等時間の縮減につなげる。 ・ 次年度に向けて、行事ごとに想定されるリスクを整理し、安全に実施できるよう計画を見直していく。

5 生徒指導・安全面で特に見逃さないこと

- ・ 肯定率が高くても、自由記述に示された具体的な困り感を軽視しない。「いじり」「からかい」は、周囲の意図ではなく、受けた本人の感じ方を基準として丁寧に対応する。
- ・ 安全・防災教育は、生徒 91.5%に対し、教職員 83.3%、保護者 81.4%、地域 85.7%である。訓練の実施だけでなく、実際の場面を想定した危機管理体制の点検をする。

6 今後の評価で確認したい「生徒の姿」

学び	自分が何を学び、何ができるようになったか、どの学び方が有効だったかを説明することができる。
生活	学校で学んだことを、家庭での生活習慣やメディア利用に生かし、振り返ることができる。
地域・将来	阿武町のよさや課題、自分の夢や目標を、自分の言葉で相手に伝えることができる。
安心・安全	困ったときに相談でき、相手の感じ方を大切にしながら、安全を考えて行動することができる。

一人ひとりの実践を「生徒の姿」で確かめ、家庭・地域と共有し、次の改善へつなげていきます。

アンケート結果【教職員】

No.	区分	アンケート項目	4	3	2	1	回答数	肯定的回答率	平均点
1	郷	本校では、「学校・地域連携・小中連携カリキュラム」に基づき、生徒が阿武町のよさや課題に気付き、それを自分の言葉で伝える学習を進めている。	7	5	0	0	12	100.0%	3.58
2	郷	本校では、地域の方と関わる授業・行事や地域貢献活動、「ハート・リターンプロジェクト」を通して、生徒が地域の方の思いや願いを受け止め、地域の担い手としての意識を高められるよう取り組んでいる。	9	2	0	1	12	91.7%	3.58
3	知	本校では、生徒が夢や目標をもち、その達成に向けて粘り強く挑戦し続けられるよう支援している。	7	5	0	0	12	100.0%	3.58
4	知	本校では、一人ひとりを大切にしたり分かりやすい授業づくりや、ガリ勉学習タイム・アクティブリコールなどを通して、生徒の学力の定着に取り組んでいる。	10	2	0	0	12	100.0%	3.83
5	知	本校では、授業や話し合い、振り返りなどで、生徒が自分の考えをもち、言葉や文章で分かりやすく表現できるよう指導している。	8	4	0	0	12	100.0%	3.67
6	知	本校では、ロイロノートや生成AIなどを適切に活用し、学習活動の充実を図っている。	10	2	0	0	12	100.0%	3.83
7	徳	本校では、生徒がチャレンジ目標「美・礼・時」を意識して生活できるよう指導している。	6	5	1	0	12	91.7%	3.42
8	徳	本校では、生徒が自分や友達のよさに気付き、それを言葉で伝え合う活動を通して、互いを認め合える集団づくりに取り組んでいる。	7	5	0	0	12	100.0%	3.58
9	徳	本校では、いじめを許さない指導やアンケート・教育相談を通して、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に組織的に取り組んでいる。	10	2	0	0	12	100.0%	3.83
10	徳	本校では、生徒が多様な考えにふれ、自分の生き方について考えることができる道徳の授業づくりに取り組んでいる。	8	4	0	0	12	100.0%	3.67
11	徳	本校では、生徒が学校行事や体験活動に主体的に取り組めるよう、活動の場や役割を設定している。	11	1	0	0	12	100.0%	3.92
12	体	本校では、地域や関係機関と連携した安全・防災教育を通して、生徒が危険を予測し、自分と周りの人の安全を考えて行動できるよう指導している。	4	6	2	0	12	83.3%	3.17
13	体	本校では、基本的な生活習慣の定着、メディアとの適切な付き合い方、歯の健康に関する指導や取組を通して、生徒の健康づくりを進めている。	11	1	0	0	12	100.0%	3.92
14	校務運営	本校では、校内コーディネーターを中心に、外部関係機関とも連携しながら、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を進めている。	5	7	0	0	12	100.0%	3.42
15	校務運営	本校では、会議資料の事前共有や協議内容の精選などにより、会議の効率化を図っている。	6	5	1	0	12	91.7%	3.42
16	校務運営	本校では、業務の見直しや分担の工夫、勤務環境の改善を通して、時間外在校等時間の縮減に取り組んでいる。	5	4	3	0	12	75.0%	3.17
17	校務運営	本校では、日頃から必要な情報共有や教職員相互の支え合いが行われ、働きやすい職場づくりが進められている。	8	4	0	0	12	100.0%	3.67
自由記述		・全教員に周知・共通理解されるべき事項が知らされていないことが多々ある。							

「自分自身の行動」

[illegible]

「家庭で見える子どもの姿」

- ・一部の生徒から過度にからかわれたりしているのが嫌らしい。気にするな、が性格的に難しいのかもしれないですが…。
- ・アンケートは、氏名記入無しで実施して欲しい
- ・タブレットは、注意しても隠れて遊んでいるので必要なとき以外(宿題や充電)は家に持って帰らないで欲しい。
- ・グリーンパークの使い方があまり良くなく感じる。それが1度ではなく何度も感じるのがとても残念。もう少し大切に使ってほしいです。
- ・イカダ大会は熱中症のリスクが高いため、終わり次第すぐに解散してほしい。

アンケート結果【地域】

[illegible]

4者比較（No.1～13）

No.	区分	評価内容	教職員 肯定率	生徒 肯定率	保護者 肯定率	地域 肯定率	最大差	教職員 平均	生徒 平均	保護者 平均	地域 平均
1	郷	地域学習・自分の言葉での発信	100.0%	74.5%	76.7%	100.0%	25.5%	3.58	2.85	3.12	3.78
2	郷	地域との関わり・担い手意識	91.7%	76.6%	86.0%	100.0%	23.4%	3.58	2.94	3.12	4.00
3	知	夢や目標に向けた挑戦	100.0%	91.5%	72.1%	100.0%	27.9%	3.58	3.11	2.98	3.75
4	知	分かりやすい授業・学力定着	100.0%	89.4%	65.1%	100.0%	34.9%	3.83	3.19	2.88	3.63
5	知	自分の考えを表現する力	100.0%	83.0%	86.0%	100.0%	17.0%	3.67	3.09	3.07	3.60
6	知	ICT・生成AI等の活用	100.0%	87.2%	76.7%	100.0%	23.3%	3.83	3.36	3.09	3.60
7	徳	美・礼・時	91.7%	95.7%	81.4%	100.0%	18.6%	3.42	3.23	3.05	3.50
8	徳	互いを認め合う集団づくり	100.0%	89.4%	83.7%	100.0%	16.3%	3.58	3.28	3.12	3.60
9	徳	いじめ防止・相談体制	100.0%	87.2%	88.4%	100.0%	12.8%	3.83	3.19	3.28	3.71
10	徳	道徳教育	100.0%	91.5%	81.4%	100.0%	18.6%	3.67	3.36	3.09	3.80
11	徳	学校行事・体験活動	100.0%	93.6%	95.3%	100.0%	6.4%	3.92	3.23	3.49	3.88
12	体	安全・防災教育	83.3%	91.5%	81.4%	85.7%	10.1%	3.17	3.32	3.14	3.57
13	体	健康づくり	100.0%	89.4%	58.1%	100.0%	41.9%	3.92	3.19	2.67	3.88

区分別肯定的回答率

全体平均（肯定的回答率）

対象	教職員	生徒	保護者	地域
全体平均	97.4%	87.7%	79.4%	98.9%

区分別

区分	教職員	生徒	保護者	地域
郷	95.8%	75.5%	81.4%	100.0%
知	100.0%	87.8%	75.0%	100.0%
徳	98.3%	91.5%	86.0%	100.0%
体	91.7%	90.4%	69.8%	92.9%

